



CSSテクニック

Blog デザインをスマートにかつとばそう!

第2回 もっと凝ったリンクのデザイン

毎年3月に米国で行われるSXSW  は映画や音楽の祭典ということで多くの観客を動員しますが、インタラクティブ部門の祭典もあります。今回そのパネルディスカッションではCSSが大々的に取り上げられたそうです。CSSは、ブログをはじめ、ウェブデザインでは必須になってきたということなのでしょう。

 <http://www.sxsw.com/>

今回は、前回よりもさらに上級の、もっと突っ込んだリンクのドレスアップテクニックを紹介します。さらに、次回からはスタイルシートスタイルブックのメンバーがほとんど参加してくれる予定です。お楽しみに。(長谷川恭久)

by スタイルシート・スタイルブック

 <http://www.stylesheet-stylebook.com/>

主宰者の執筆したCSSの書籍『スタイルシート・スタイルブック』(翔泳社刊)の発売と同時にオープンした、CSSをみんなで楽しく学べるコミュニティサイト。「CSSでもっと楽しくしてみよう」と集まったメンバーが初心者から上級者まで幅広い層に向けて、CSSに関するテクニックやQ&A情報などの記事をサイト上で書いています。そのメンバーが本誌面でCSSテクニックを解説します。



今月のイケてるCSSデザインサイト

カッコいいデザインをたくさん見てセンスや技を学ぶのが、デザインカアップの第一歩!

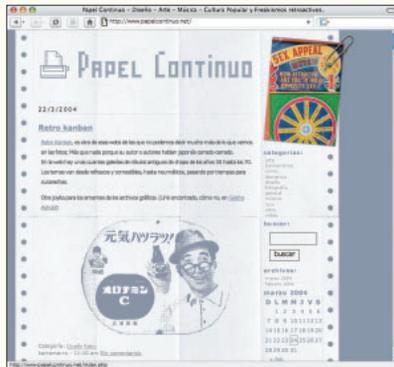
1

画像を加工して統一感

Papel Continuo

 <http://www.papelcontinuo.net/>

WordPressというブログツールを利用したスペイン語のブログサイト。紙切れをイメージしたアナログ風なレイアウトにまず好印象を持ちます。また、エントリーに使われている画像は、すべてドットを強調したピットマップ風に加工してあります。このように画像の雰囲気統一することによって、サイトとしての統一感が保たれて、同時にサイトの個性にもなっています。



この画面ではわかりにくいのですが画像には独特の加工がされています。

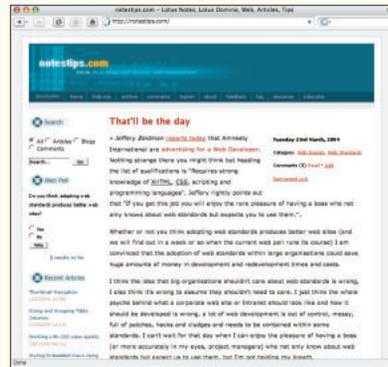
2

読者の反応を誘うパーツ配置

notestips.com

 <http://notestips.com/>

ロンドン在住のMike Goldingさんのブログサイト。多くのブログサイトではエントリー下のほうに掲載されているコメント数やトラックバック数などの情報が、このサイトでは各エントリーの右上に掲載されています。見やすい場所へ置くことでエントリーへの反応が容易になる効果があるでしょう。また左側のメニューバーを消すことができる「hide nav」という機能も注目です。



色や飾りだけでなく、パーツの配置もデザインの重要な要素です。

イケイケデザイン&テクニック募集中

あなたのイケてるブログサイトやCSSテクニックを募集しています。「いいデザインができたかも」と思ったら、ガンガン応募してください。イケてるデザインやテクニックは、このコーナーで紹介しします。みんなで参考にし合っておもしろいサイト作りましょう! 応募先: im-ikeike-css@impress.co.jp (スタイルシート・スタイルブックのサイトでも募集しているよ)

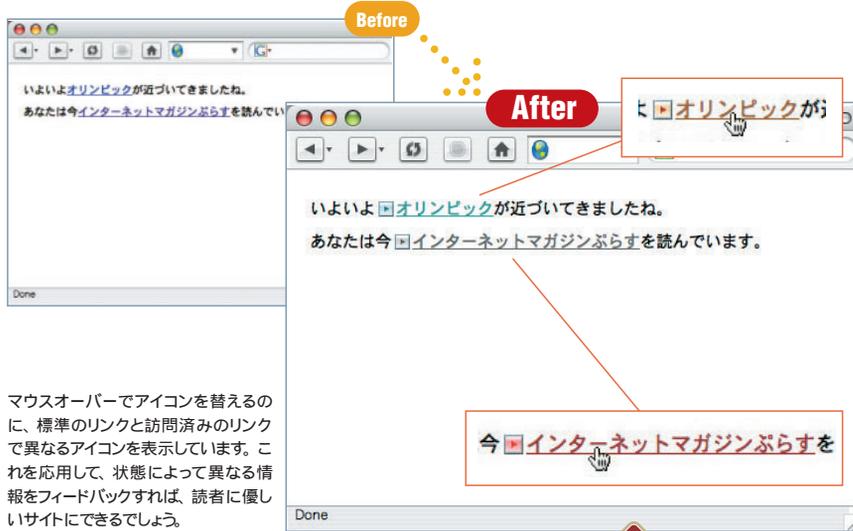


リンクの状態をさらに細かくカスタマイズする

1

:hoverや:visitedなどの疑似クラスの細かい指定方法

by 長谷川恭久



マウスオーバーでアイコンを替えるのに、標準のリンクと訪問済みのリンクで異なるアイコンを表示しています。これを応用して、状態によって異なる情報をフィードバックすれば、読者に優しいサイトにできるでしょう。

前回、リンクのカスタマイズの基本形として「:hover」「:visited」のような疑似クラスについて紹介しました。今回はさらに細かくスタイルを指定するためのテクニックを紹介します。前回紹介したテクニックを使ってリンクにアイコンを付け、マウスオーバーでアイコンを切り替えています。ただし、標準のリンクと訪れたことがあるリンクで、異なったマウスオーバーのアイコンを指定していることに注目してください。また、スタイルシートを見やすくするためにグループでスタイルを指定できるやり方をマスターしましょう。

C S S

```

/* リンクに共通したスタイル設定 */
:link, :visited {
  text-decoration: underline; /* 下線を引く */
  /* 左側に余白を作る(アイコンの横幅より大きく指定) */
  padding-left: 15px;
  /* リンク前の文字とアイコンとの感覚を空ける */
  margin-left: 3px;
}

/* 標準のリンクの設定 */
:link {
  color: #399; /* 色の指定 */
  /* 標準のリンク用のアイコンを指定 */
  background: transparent url(icon_link.gif)
    no-repeat 0% 50%;
}

/* 標準のリンクのマウスオーバー */
:link:hover {
  color: #963; /* 色の指定 */
}

/* アイコンを指定 */
background: transparent url(icon_hover.gif)
  no-repeat 0% 50%;
}

/* 訪れたことがあるリンク */
:visited {
  color: #666; /* 色の指定 */
  /* アイコンを指定 */
  background: transparent url(icon_visited.gif)
    no-repeat 0% 50%;
}

/* 訪れたことがあるリンクのマウスオーバー */
:visited:hover {
  color: #933; /* 色の指定 */
  /* マウスオーバーリンク用のアイコンを指定 */
  background: transparent url(icon_vhover.gif)
    no-repeat 0% 50%;
}

```

C S S テクニックのキモ

今回のテクニックでは、リンクの疑似クラスの指定方法を工夫することで、第1回よりもさらに細かくアイコンを制御しています。

CSSでスタイルを設定していると、複数のセレクターに共通したスタイルを設定したくなるケースは多いでしょう。第1回でも説明したように、カンマ(,)で区切って複数のセレクターを指定することで、一括してスタイルを指定できます。たとえば、次のように指定すると、すべての見出しで太字を設定できます。

```

h1, h2, h3, h4, h5 {
  font-weight: bold;
}

```

これと同様にして、リンクの状態を示す「疑似クラス」をカンマで区切って複数指定することもできます。こうすることにより、後で編集するときの作業が楽になります。

```
:link, :visited { ~ }
```

さらに今回は、リンクの状態によって、より細かいスタイル指定を実現しています。リンクの上にマウスカーソルが来たときの状態を指定する「:hover」では、標準のリンクも訪れたことのあるリンクも、同じ指定しかできません。しかし今回は、疑似クラスを2つ続けて指定することで、より細かくスタイルを指定しています。標準のリ

リンクのマウスオーバーは次のように指定します。

```
:link:hover
```

訪れたことのあるリンクのマウスオーバーは次のように指定します。

```
:visited:hover
```

リンクが行の折り返し部分にあると画像の表示場所がおかしくなるので、気になる場合はCSSに次のように指定しておくといいいでしょう。

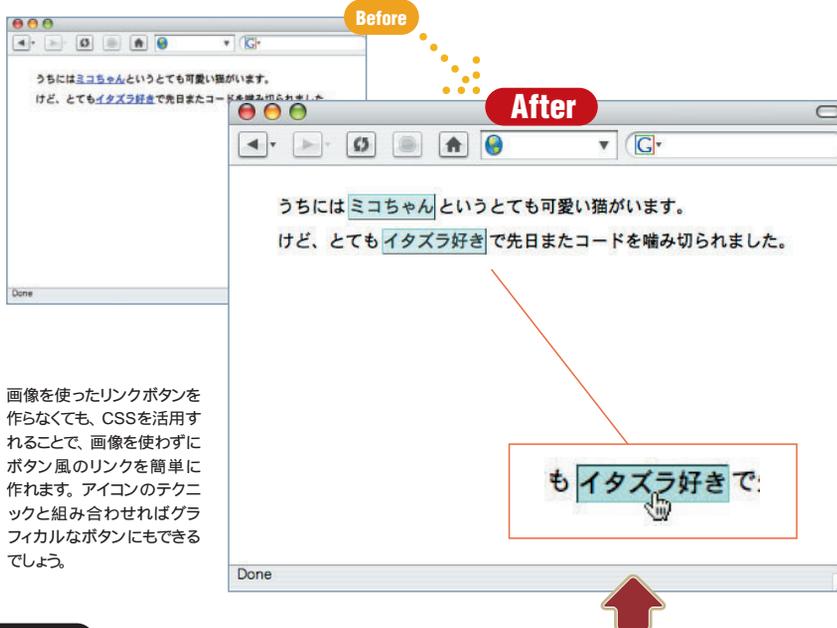
```
white-space: nowrap;
```

画像を使わないボタン型リンクを作る

2

borderとbackground-colorによるボタンとtop / leftによるずらし

by 長谷川恭久



画像を使ったリンクボタンを作らなくても、CSSを活用することで、画像を使わずにボタン風のリンクを簡単に作れます。アイコンのテクニックと組み合わせればグラフィカルなボタンにもできるでしょう。

CSSをうまく使えば、今までにないデザインのリンクが作れます。マウスカーソルが上に来たときの変化も、JavaScriptを使わなくてもCSSだけで実現できるので、昔に比べればかなり簡単にインタラクティブ性をアップできます。今回は、単に色を変えるだけでなく、もう少し変化に富んだリンクを作ってみましょう。CSSには枠線を作るためのプロパティが存在しますが、これをうまく使えば、画像を使わなくてもボタンのようなリンクを作れます。さらにリンクがクリックされるとへこんだ表示にして、あたかもユーザーがボタンを押しているように見えるリンクにしてみましょう。

CSS

```
/* 標準のリンクの状態 */
a{
  text-decoration: none; /* 下線を削除 */
  border-top: 1px solid #9cc;
  border-left: 1px solid #9cc;
  border-bottom: 1px solid #666;
  border-right: 1px solid #033;
  background-color: #cff; /* 背景色 */
  color: #333; /* 文字の色 */
  position: relative;
  margin: 0px 2px;
}

/* クリックされたとき */
a:active{
  border-top: 1px solid #033;
  border-left: 1px solid #033;
  border-bottom: 1px solid #9cc;
  border-right: 1px solid #9cc;
  background-color: #BCE4E4; /* 背景色 */
  color: #000; /* 文字の色 */
  top: 1px; /* 1ピクセル下に表示 */
  left: 1px; /* 1ピクセル右に表示 */
}
```

CSS テクニックのキモ

リンクをボタンのように見せる前に、まず「text-decoration:none」を指定して、リンクに標準で付いてくる下線を削除しておく必要があります。これをしておかないとボタンの下側に線が2つあるように見えてしまいます。

ボタン風に見せるために枠を付けるのですが、「border」プロパティを使うと上下左右の4方向に同じ枠線が付けられるので、「border-top」「border-bottom」「border-left」「border-right」を使って上下左右それぞれに異なった枠線のスタイルを設定します。それぞれについて、枠線の幅、枠線の種類、枠線の色を指定できます。

ボタンを立体的に見せるためには、上と左の枠線は明るめの色に、下と右の枠線は暗めの色に設定します。

クリックされたときには、へこんで見せるために、上と左の枠線は明るめに、下と右の枠線は暗めに色を設定します。また、ボタンがへこんでいるように見せるために、背景色 (background-color) や文字の色 (color) も明暗を付けておくといいでしょう。

さらに、クリックされたときにボタンの位置を若干ずらすと、よりボタンを押しているように見えます。クリックされたときのスタイルの「top:1px」「left:1px」は、標準のリンク文字が

あるところから1ピクセル右下にずらして表示させるためのものです。ただし、このエフェクトを使うときは、標準リンクのスタイル設定のほうに「position:relative」を記述しておく必要があるので注意しましょう。

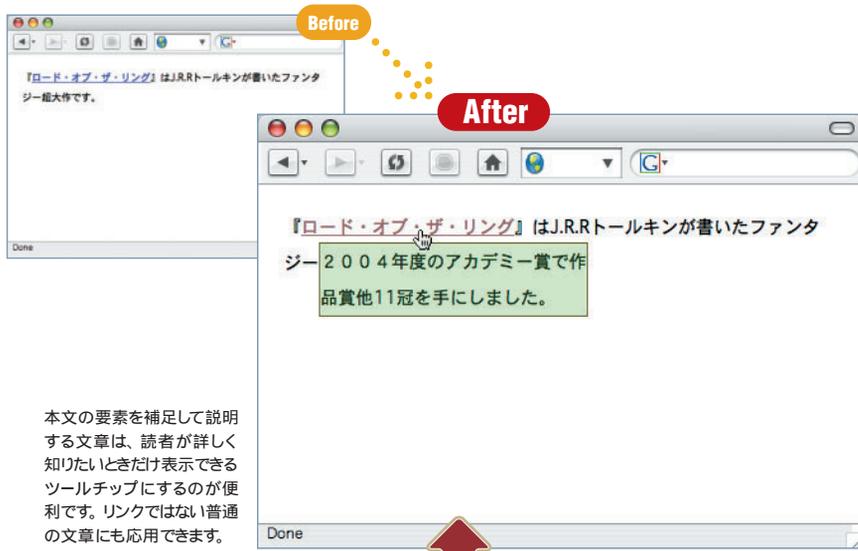


CSSでツールチップを実現する

3

非表示にしたspan要素をマウスオーバーで再表示して位置調整

by 長谷川恭久



本文の要素を補足して説明する文章は、読者が詳しく知りたいときだけ表示できるツールチップにするのが便利です。リンクではない普通の文章にも応用できます。

画像のHTMLタグに「alt」というプロパティを入れて文章を指定しておけば、マウスオーバーしたときにポップアップ表示されます。このように補足説明のような文章が表示される小さい四角形のポップアップウィンドウを「ツールチップ」と呼びます。CSSを使って、ツールチップと同じような効果画像以外のものにも付けてみましょう。以前からJavaScriptと組み合わせてツールチップを作る方法がありましたが、今回紹介するのはCSSのみで作ります。しかもHTMLのほうに少し手を加えるだけでツールチップが作れるのです。専門用語の説明をしたり、リンク先に何があるのかを伝えたりすることで、サイトの使い勝手を向上させましょう。

HTML

```
<div>『<a href="http://www.lordoftherings.net"
class="tip">ロード・オブ・ザ・リング<span>2004年度のアカデミー賞で作品賞他11冠を手に入れました。</span></a>』はJ.R.Rトルキンが書いたファンタジー超大作です。</div>
```

CSS

```
a.tip{
  position: relative;
  color: #066;
}

a.tip span{
  position: absolute;
  display: none; /* Tipテキストを非表示 */
}

/* ツールチップを表示 */
a.tip:hover span{
  display: block; /* 表示する */
  top: 1.5em; /* 位置とサイズ */
  left: 1em;
  width: 15em;
  border: 1px solid #663; /* 見た目 */
  background-color: #cfc;
  color: #030; /* テキスト */
  text-align: left;
}
```

CSSテクニクのキモ

HTMLでは、ツールチップ用の「tip」クラスを指定したリンクのaタグの内側に、~というタグで囲んでツールチップ用のテキストを書きます。

そしてCSSでは、標準のリンクの内側にあるspan要素を「a.tip span」というセレクターで指定して、ここで「display: none」を指定して非表示にしています。

そして、「マウスカーソルが上に来たときの、tipクラスのリンクの内側にある要素」を示す「a.tip:hover span」というセレクターでツールチップの表示を設定しています。ここでは、まず「display: block」で非表示だった内

容を表示します。表示位置は、「top」と「left」を使って、リンクの左上隅からどれだけ離すかを指定します。ただし、このように位置を指定するためには、リンクの標準設定のスタイル指定で「position: relative」を、ツールチップのテキストがあるタグのスタイル指定で「position: absolute」を記述しておく必要があります。

また、ウィンドウ版のIEではバグのため、とうまくツールチップが表示されない場合があります。次のようにして、背景色や表示の重なり位置関係を指定しておけばうまく表示されるでしょう。

```
a.tip{
  position: relative;
  color: #066;
  /* IEのバグ回避 */
  background-color: transparent;
  z-index: 1;
}

a.tip:hover{
  color: #966;
  /* IEのバグ回避 */
  background-color: #fff;
  z-index: 2;
}
```



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp